

各販売会社
サービス部署長殿

日産・自動車大学校
学長 本廣 好枝

2019年度入社日産校卒業生アンケート結果報告 及び 今後の取り組み

拝啓 貴社ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は、弊校の活動にご理解とご支援をいただき、誠にありがとうございます。
さて、2019年11,12月の大変お忙しい中、日産校卒業生アンケートにご協力いただき厚く御礼申し上げます。
ご回答頂きましたアンケート結果を取りまとめましたので、ご報告申し上げます。

ご回答頂きましたアンケート結果より、日産校生が評価頂いている点、及び今後の課題などが明確になりました。
私共と致しましては、本課題を基に、教育内容の強化・改善を図って参ります。
日産校は「より高い質の人財と、より多く日産グループへ」の使命をもとに、引き続き学生の質の向上に尽力して参ります。
今後とも、ご指導ご支援くださいますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

敬具

1. アンケート実施要領

- (1)実施期間 : 2019年11,12月
(2)対象者 : 2019年度に日産校からの卒業生が入社した78社の教育担当、卒業生に対して実施。
(3)回収率

	教育担当	卒業生
アンケート配付数	376	376
回収数	289	279
回収率	76.9%	74.2%

2. 本件問い合わせ先

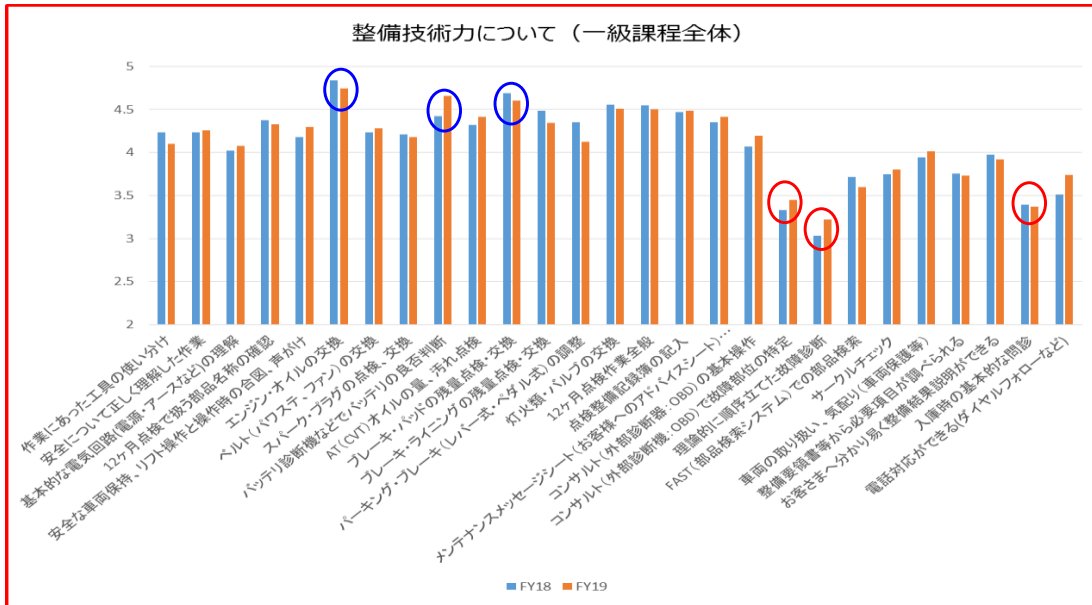
日産・自動車大学校 教育企画部 鳥井 英雄
Tel:045-3751-3148
E-mail: torii@mail.nissan.co.jp

以上

1. 1級課程の結果と取組

1) 結果-「整備技術力」

ベスト評価(上位3項目):「エンジンオイルの交換」「バッテリー診断機などでバッテリーの良否判断」「ブレーキパットの残量点検・交換」
 ワorst評価(下位3項目):「コンサルトで故障部位の特定」「理論的に順序立てた故障診断」「入庫時の問診」

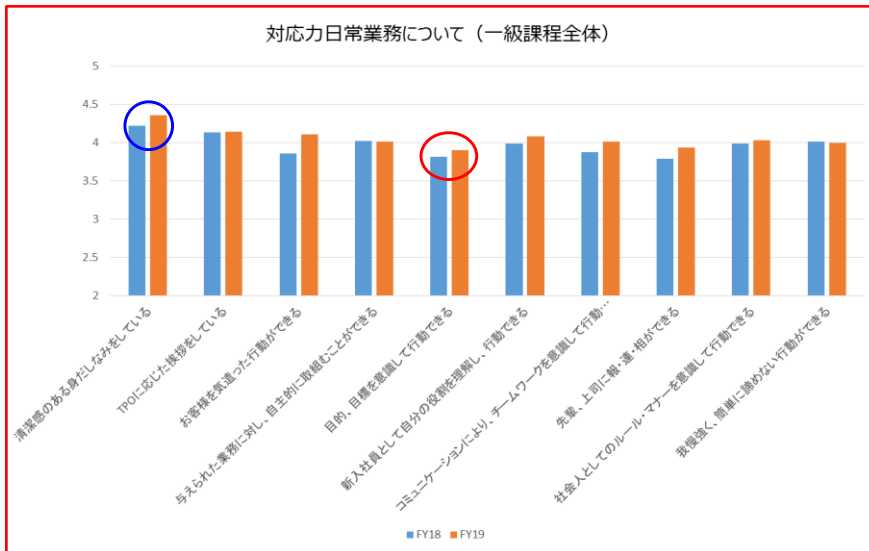


2) 取組み-「整備技術力」

- ・昨年に引き続き、上位3項目を含む整備技術力は、高い評価を受けている。今後も継続して取組を行い、一定の整備技術を持った学生を育成していく。
- ・下位3項目については、故障修理には、必要不可欠な「問診」「コンサルトの使用」「理論的な考え」等、故障修理に必要な一連の作業ができるようカリキュラムの改定、指導強化を図る。

1) 結果-「対応力日常業務」

上位評価:「清潔感のある身だしなみをしている」
 下位評価:「目的、目標を意識して行動できる」



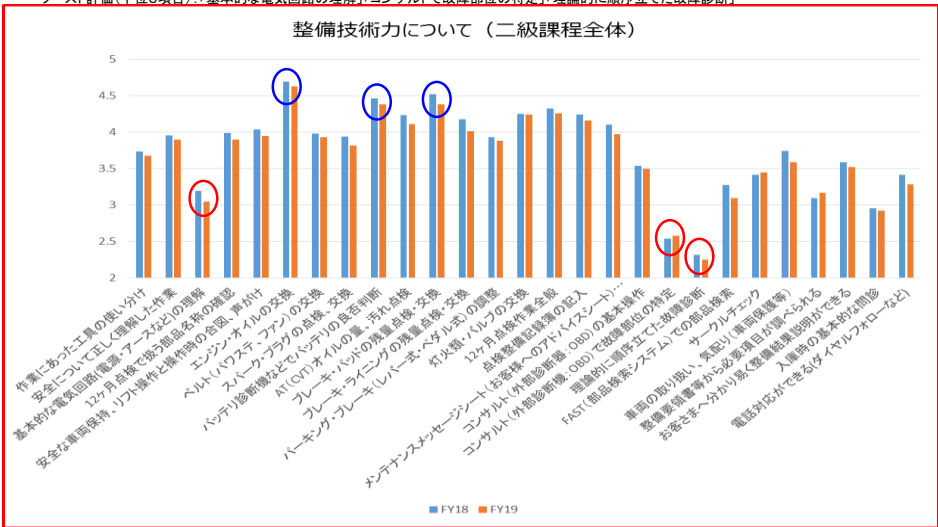
2) 取組-「対応力日常業務」

- ・対応力、日常業務については、全体的に比較的高い評価を受けている。
- ・特に清潔感のある身だしなみは、躰指導の上位項目であり、今後も継続して取組む。
- ・目的、目標を意識して行動できるかは、今後の人間性の成長に重要なファクターであり、日常、授業等で意識して取り組むよう仕掛け造りから構築して育成する。

1.2 2級課程の結果と取組

1) 結果-「整備技術力」

ベスト評価(上位3項目):「エンジンオイルの交換」「バッテリー診断機などでバッテリーの良否判断」「ブレーキパットの残量点検・交換」
 ワースト評価(下位3項目):「基本的な電気回路の理解」「コンサルトで故障部位の特定」「理論的に順序立てた故障診断」

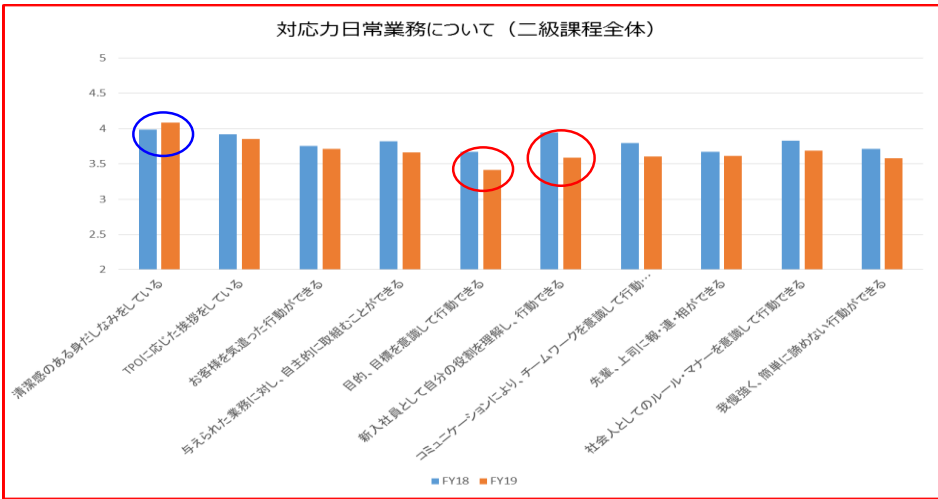


2) 取組-「整備技術力」

・昨年に引き続き、上位3項目を含む整備技術力は、高い評価を受けている。今後も継続して取組を行い、1級課程同様に一定の整備技術を持った学生を育成していく。
 ・下位3項目については、故障修理には、必要不可欠な「電気回路の理解」「コンサルトの使用」「理論的な考え」等、故障修理に必要な一連の作業ができるよう1級課程と同様にカリキュラムの改定、指導強化を図る。

1) 結果-「対応力日常業務」

上位評価:「清潔感のある身だしなみをしている」
 下位評価:「目的、目標を意識して行動できる」「新入社員としての役割を理解し、行動できる」



2) 取組-「対応力日常業務」

・対応力、日常業務については、全体的に比較的高い評価を受けている。
 ・特に清潔感のある身だしなみは、競指導の上位項目であり、1級課程同様に今後も継続して取組む。
 ・目的、目標を意識して行動できるは、今後の人間性の成長に重要なファクターであり、日常、授業等で意識して取り組むよう1級課程同様に仕掛け造りから構築して育成する。
 ・新入社員としての自分の役割を理解して取り組むことは、入社後成長する為の土台となる素養である。学内で社会人となる為の意識付けの強化を図る。
 ・目的、目標意識と新入社員としての役割、行動が昨年度より大幅に下げている。FY18とFY19の育成方法等の違いを分析し、FY20の育成に繋げる。

1級課程卒業生の結果

1. 在学時における学習要望

卒業生が「授業時間を増やした方が良い」と考える項目

※整備技術でポイントが高い程、要望が高い。

- ・「12ヶ月点検で扱う部品名称の確認」「ベルト(パワステ、ファン)の交換」「AT(CVT)オイルの量、汚れ、
- ・学習要望の高い項目については、習熟方法の検討を行い、カリキュラムに織り込む。

2. 現在の仕事について

・「先輩、上司に相談できますか」「仕事のやりがいを感じていますか」が、昨年度に引き続き高い。

整備技術に関する項目
であり、ポイントが高い
程、

ポイントが高い

